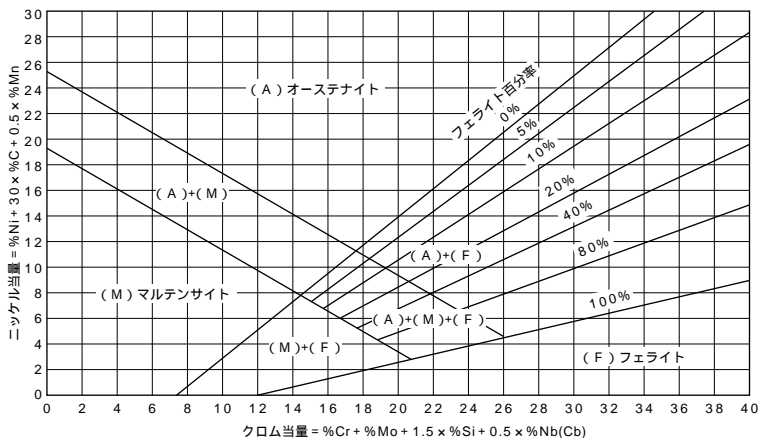


ステンレス鋼溶接金属の成分と組織

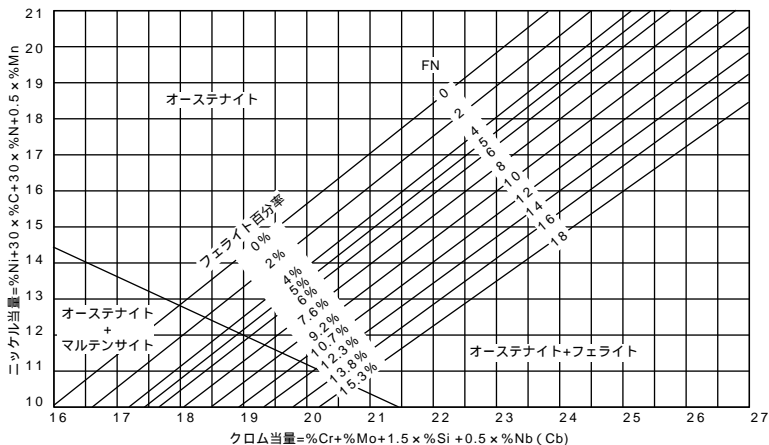
組織図はオーステナイト系ステンレス鋼溶接金属のフェライト量を求める場合に使われます。また、組織図はステンレス鋼溶接金属の他に、炭素鋼から高合金鋼溶接金属まで広範囲にわたってその化学成分から組織を推定するために使われます。例えば炭素鋼とステンレス鋼の異材継手をオーステナイト系ステンレス鋼溶接材料で溶接する場合、あるいは炭素鋼にステンレス鋼溶接材料で肉盛する場合などで、溶接金属の組織を推定するために利用されています。

参考資料（ステンレス鋼溶接金属の成分と組織）

JIS Z3119の組織図A（シェフラーの組織図に同等）

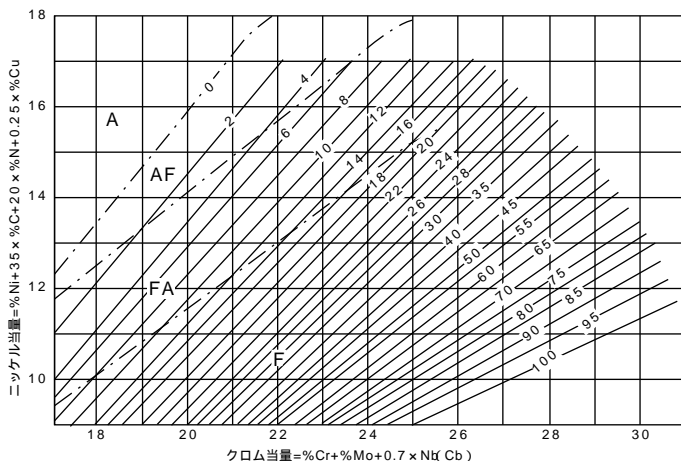


JIS Z3119の組織図B（ディロングの組織図に同等）



備考：この組織図を使用する場合に適用する窒素の量は、分析試験により求めることが望ましい。もし分析値がない場合は、簡易的に窒素量は0.03%を用いてください。

JIS Z3119の組織図C（WRC-1992線図に同等）



備考：図中A, AF, FA, Fは凝固モードを表し、Aはオーステナイト（ γ ）単相、AFは γ 初晶+共晶フェライト（ δ ）、FAは δ 初晶+包/共晶 γ 、Fは δ 単相凝固です。